

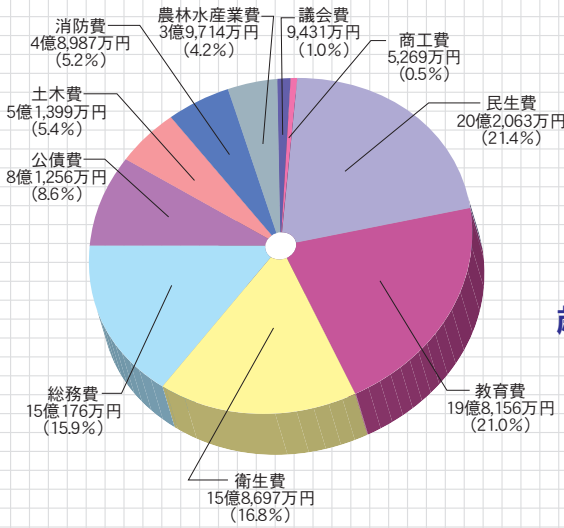
財政状況の公表

平成19年度決算

一般会計

平成19年度決算額は、歳入総額98億8,423万円に対し、歳出総額94億5,148万円となりまして、これは、平成18年度の一般会計決算額と比べると、歳入で6億3,921万円の増額、歳出で5億3,470万円の増額となっております。

歳出(町が使ったお金) 94億5,148万円 (対前年度 5億3,470万円増)

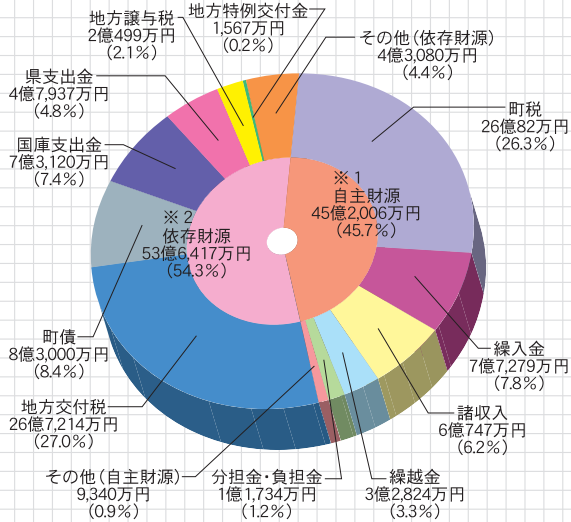


【町税26億82万円の内訳】

固定資産税	12億 862万円	46.5%
町民税	11億7,320万円	45.1%
たばこ税	1億7,021万円	6.5%
軽自動車税	4,879万円	1.9%

◆歳入
歳入の主なものは、町税、地方交付税、町債などです。町税は、みなさんから納めていただいた町民税や固定資産税、軽自動車税、たばこ税などで26億82万円(前年度比11・1%増)となっております。地方交付税は町税だけでは不足する財源を補うため国から交付されるもので、26億7,214万円(前年度比3・6%減)

歳入(町に入ってきたお金) 98億8,423万円 (対前年度 6億3,921万円増)



(注)

※1 自主財源：町税など町が自主的に収入することができるお金であり、「その他(自主財源)」としては使用料及び手数料、財産収入、寄附金がこれに当たります。
※2 依存財源：国、県の意思により定められた額を交付されたり、割り当てられたりする収入をいいます。「その他(依存財源)」として、地方消費税交付金などの交付金がこれに当たります。

◆歳出
歳出の中で特に大きな割合を占めているものは、民生費、教育費、衛生費です。民生費は保育委託事業や児童手当給付事業などで20億2,063万円(前年度比7・7%増)、教育費は、横芝中学校校舎等改築事業などで19億8,156万円

となつています。町債は、横芝中学校校舎等改築事業や道路改良事業等の不足する財源を補うための借入金で8億3,000万円(前年度比31・0%増)となっております。また、歳入のうち町税など自主的な財源は、45億2,006万円(歳入全体の45・7%)、地方交付税、国・県などからの補助金や町債など依存的な財源は、53億6,417万円(歳入全体の54・3%)となっております。

※人口一人当たり及び一世帯当たりの町税、歳出決算額、借入金、基金

町税負担 一人当たり 99,196円	町税負担 一世帯当たり 284,429円
一般会計歳出決算額 一人当たり 360,482円	一般会計歳出決算額 一世帯当たり 1,033,627円
町借入金残高 一人当たり 426,202円	町借入金残高 一世帯当たり 1,222,068円
町基金残高 一人当たり 114,264円	町基金残高 一世帯当たり 327,636円

平成20年3月31日現在 人口=26,219人 世帯数=9,144世帯

◆町税負担は一人当たり約9万9千円
平成19年度の一人当たり、一世帯当たり換算した町税、歳出決算額、借入金残高、基金残高は左表のとおりです。

町民のみなさんが納めた税金や国・県からの補助金などがどのように使われたのかを知っていただくため、町では毎年2回財政状況を公表しています。今回は、平成19年度決算と平成20年度上半期(4月1日～9月30日)の状況について、一般会計を中心にその概要をお知らせします。